

『パワー・ハラスメントと人権一見直そう、職場と家庭の人間関係』学習の手引き(人権啓発ビデオ制作委員会、2008年)

思いあたることはありませんか？（加害者編）

- ①パワー・ハラスメントは結局のところ、弱い人間がいだした問題だと思う。 ☐
- ②ハラスメントの被害を受ける人は、その人自身に問題があると思う。 ☐
- ③ハラスメントをはね返すくらいの強さがないと、人として駄目だと思う。 ☐
- ④うちの会社に限ってハラスメント問題など起こらないと思う。 ☐
- ⑤若くて経験のない者が自分の意見を堂々といっているのを見るとイライラする。 ☐
- ⑥今の若い人は甘やかされているから鍛えなおさないとだめだと思う。 ☐
- ⑦自分より歳が若い人から意見をいわれると不快に感じる。 ☐
- ⑧年長者を立てない若者を見ると怒りを覚える。 ☐
- ⑨女性や若年者は控えめにしていた方が可愛げがあると思う。 ☐
- ⑩出来が悪い部下や社員は会社の荷物だから、早く切り捨てた方がせいせいすると思う。 ☐
- ⑪要領の悪い人間を見ているだけでイライラする。 ☐
- ⑫仕事が出来ない部下は、とことん鍛え直したくなる。 ☐
- ⑬能力のない人が努力している姿を見ると哀れに感じる。 ☐
- ⑭企業社会では何より勝ち負けが大事だと思う。 ☒
- ⑮いってわからない人には怒鳴りつけた方がいいと思う。 ☐
- ⑯短気で攻撃的だといわれることがある。 ☐
- ⑰カーッとなるとわけがわからなくなることがある。 ☐
- ⑱勝ち負けには強くこだわる性格で、たとえゲームでも負けるのは不快である。 ☒
- ⑲出る杭はとことん打ちのめしたくなる。 ☐
- ⑳完璧主義だと、よく人からいわれる。 ☐
- ㉑客から暴言を浴びせられたり、理不尽なクレーム処理に追われることが多い。 ☐
- ㉒過重労働気味で、いつも仕事に追われている。 ☐

（作成：臨床心理士・社会保険労務士 涌井美和子）